

2008年度研究業績一覧

2008.4～2009.3

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・講演会等	発表年月
天野宏司 (准教授)	著書	平岡昭利編『地図で読み解く日本の地域変貌』(分担執筆)	海青社、「川崎」pp.96-99	2008. 11
	論文	「郵便線路図」による公権力の国土空間の把握について	平成17年度～平成19年度科学研究費補助金基盤研究(B)「公権力の空間認識に係る近代歴史地理学的研究」(研究課題番号17320130)研究成果報告書、CD-ROM版	2009. 03
	研究ノート	引き込み線のある風景	『地図中心』438, pp.16-19	2009. 03
	書評	黄武達編著:『日治時期台湾都市発展地図集』、『歴史地理学』50(3)、pp32-34		2008. 06
		片倉佳史著・劉添根訳:『台湾風景印-台湾・駅スタンプと風景印の旅』、『歴史地理学』50(5)、pp.52-54		2008. 12
		中西僚太郎・関戸明子編:『近代日本の視覚的経験-絵地図と古写真の世界』、『地図中心』437, p.45		2009. 02
	講演	神の眼・人の眼～入間市の景観と風景～	豊岡ブチ大学(駿大ふれあいハウス)	2008. 10
	その他	日常風景の中の近代化遺産	『地理』634, pp92-95	2008. 05
		旧植民地における近代化遺産	『地理』641, pp88-98	2008. 12
		「秩父サイクルトレイン」アンケート結果報告書(天野宏司研究室編)	秩父サイクルトレイン実行委員会刊、28p	2008. 04
		「第二回秩父サイクルトレイン」アンケート結果報告書(天野宏司研究室編)	秩父サイクルトレイン実行委員会刊、20p	2008. 06
		「スポニチ佐渡ロングライド210 2008」アンケート調査報告(天野宏司研究室編)		2008. 07
		「第三回秩父サイクルトレイン」アンケート結果報告書(天野宏司研究室編)	秩父サイクルトレイン実行委員会刊、20p	2009. 01
研究テーマ	人文地理学・観光地理学			
石田栄美 (准教授)	講演会	“Children’s Eye Movement While Reading Picture Books”	iSchool Colloquium (College of Information Studies, The University of Maryland)	2008. 09
	研究テーマ	テキスト自動分類 眼球運動測定を用いたHCI(Human computer interaction)		

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・講演会等	発表年月
今村庸一 (教授)	その他	「テレビふぁいる」連載	共同通信社より毎月全国に配信	2008. 04 }
	研究テーマ	映像ジャーナリズム論、映像と国際関係論		
岩熊史朗 (教授)	学会発表	パーソナリティの認知過程(5)－パーソナリティ認知の決定要因としての情報選択－	日本社会心理学会第49回大会発表論文集、pp.212-213	2008. 11
	研究テーマ	パーソナリティの認知過程、意味の成立過程		
大久保恒治 (准教授)	研究テーマ	文化情報の可視化、日本における文化・芸術の需要動向について、文化情報資源の動的活用		
大久保博樹 (准教授)	著書	わかる行政書士予想問題集 平成20年度	住宅新報社、情報分野(分担執筆) pp.420-431	2008. 04
	論文	Podcast制作における音声伝達の最適化への試み	文化情報学：駿河台大学文化情報学部紀要、Vol.15, No 2, pp.27-36	2008. 12
	研究テーマ	デジタルコンテンツとIT(利活用と教育) 映像と音響のマルチモーダルコミュニケーション		
岡部建次 (教授)	論文	K. Okabe, S. Miyazaki: "A System of Intelligent Agent Moving Freely on the Spreadsheet"	The Ninth International Conference On Industrial Management Proceedings.	2008. 09
	学会報告	情報セキュリティ政策における事業継続性確保の一考察(守屋康正・岡部建次)	日本生産管理学会第28回全国大会、大阪工業大学	2008. 09
	その他	支部研究会報告 e-生産管理と情報システム開発研究会活動報告2008	日本生産管理学会論文集、Vol.15, No. 2	
	研究テーマ	表計算ソフトシート上を自由に動き廻る自律エージェントの研究 磁気発電システム、視覚映像以外の方法による前方認識の方法		
加藤修子 (教授)	研究ノート	博物館のサウンドスケープ・デザイン：ベネッセアートサイト直島：ケーススタディ(1)	文化情報学：駿河台大学文化情報学部紀要、Vol.15, No 1, pp.11-21	2008. 06
	研究ノート	博物館のサウンドスケープ・デザイン：中村キース・ヘリング美術館：ケーススタディ(2)	文化情報学：駿河台大学文化情報学部紀要、Vol. 15, No 2, pp.47-56	2008. 12
	寄稿	ブルガリアで生まれた「キリル文字をポスターに展」を鑑賞して	ソフィアファミリー http://sofia-family.main.jp/index2.html	2009. 02

2008年度研究業績一覧

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・講演会等	発表年月
金 容 媛 (教 授)	研究テーマ	文化情報施設のサウンドスケープ・デザイン		
	研究ノート	米国の図書館・博物館政策の動向－関連法規および政策諮問機構の統合を中心に－	文化情報学：駿河台大学文化情報学部紀要、Vol.15, No 2, p.37-45	2008. 12
久 我 晃 広 (准 教 授)	研究テーマ	図書館情報政策、図書館・情報センター管理、情報専門職の教育・養成		
	講習会	平成20年度財団法人日本体育協会公認コーチ養成講習会ホッケー競技	財団法人日本体育協会	2008. 07
		「個人技能の指導」平成20年度財団法人日本体育協会公認コーチ養成講習会ホッケー競技	財団法人日本体育協会	2008. 07
		「ゲーム分析」平成20年度鳥取県ホッケー協会ジュニア指導者講習会（ホッケー）	鳥取県ホッケー協会	2009. 02
	そ の 他	女子ホッケージュニアアジアカップ 第4位女子ホッケージュニア日本代表チームコーチ	マレーシア・スレンバン	2008. 12
小 林 侷 史 (教 授)	研究テーマ	ホッケー競技におけるゲーム分析		
	研究テーマ	パーソナル・コンピュータ利用技術の普及		
R. Sawazaki (准 教 授)	著 書	『Power On English Writing』（高校英語検定教科書）	東京書籍、編集代表者 清水公男（編集者澤崎レンネアリス、ほか5名）	2009. 02
		『Power On English Writing Teacher's Manual 解説編』	東京書籍、編集者代表 清水公男（編著者澤崎レンネアリス、ほか5名）	2009. 02
	学会発表	「Visible and Hidden Culture: A Model for Teaching Intercultural Understanding」	日本国際教育学会、共愛学園前橋国際大学	2008. 05
	講 演	「Reading With Your Child」	多言語教育研究所、群馬県玉村町	2008. 07
		「Family-School Partnership for Bilingual Education」	Felice International School, 群馬県伊勢崎市	2009. 02
杉 江 典 子 (准 教 授)	研究テーマ	英語教育：外国語教育法と教材開発、異文化理解とコミュニケーション、バイリンガル教育		
	論 文	わが国の市町村立図書館におけるレファレンスサービスの利用者に関する既往調査の傾向	日本図書館情報学会誌（日本図書館情報学会）、Vol.54, No. 2, pp.117-131	2008. 06
	研究テーマ	公共図書館におけるレファレンスサービス、公共図書館における利用者の情報探索行動、市民への健康情報提供		

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・講演会等	発表年月
瀬戸純一 (教授)	著書	メディア・リテラシーの視点 (天野勝文・橋場義之編 「新現場からみた新聞学」pp.241-255)	学文社	2008. 10
	研究テーマ	マスメディア、ジャーナリズム		
高橋豊美 (准教授)	学会発表	Huasteco stress revisited. Phonology Forum 2008	日本音韻論学会	2008. 08
	講演	Contrastive phonetics of Japanese and English. UCL Summer Course in English Phonetics.	UCL	2008. 08
		発音で覚える使える英語・使いたい英語	駿河台大学公開講座「楽しく学 ぶ英語」	2008. 09
	研究テーマ	音韻論・音声学		
塚本美恵子 (教授)	論文	異文化間教育と情報メディア	小島勝編著『異文化間教育学の 研究』ナカニシヤ出版 p57-74	2008. 12
	研究ノート	デジタル映像・音響情報の活用と発信－情報配信と学 生のスキル向上のための実践教育の試み (第一次経過 報告)－	文化情報学：駿河台大学文化情 報学部紀要、Vol.15, No 1, pp.23- 30	2008. 06
	その他	メディア・リテラシーと英語教育	『新英語教育』8月号 三友社 出版、pp.7-9	2008. 07
	書評	高等教育における実践的メディアリテラシー教育の試 み－地域との連携を目指して－	異文化間教育学会、『異文化間教 育27』、p103	2008. 04
	学会発表	異文化間教育を目指した映像 (メディア) 教材の活用 と教育実践の共有	第29回異文化間教育学会 (異文 化間教育学会第29回大会発表抄 録集、pp.144-145)	2008. 06
		制作実践を通して広がる学び－CATV番組制作から iPod発信まで－	第15回日本教育メディア学会年 次大会、(第15回日本教育メデ ィア学会年次大会発表論文集 p20- 21)	2008. 10
	講演	子どもから学んだ異文化理解	2008年度駿河台大学 公開講座 彩・ふるさと喜楽学	2008. 09
		異文化理解の道具としての映像制作	“the oneminutes Jr” in Japan (於: 武蔵大学)	2008. 09
	研究発表	大学のゼミで制作し、学校教材としても活用されてい るCATV番組「見つけた」	MELL EXPO 2008 (於:東京大学)	2008. 04
	研究テーマ	異文化間教育を目指したメディア教材の活用と実践、 メディア・リテラシー		
寺嶋秀美 (准教授)	研究テーマ	コンピュータネットワークと分散管理		

氏名	種別	題目	出版社・掲載紙・講演会等	発表年月
杜正文 (教授)	研究ノート	ポットキャストの教育利用 －平成19年度学内共同研究中間報告(1)	文化情報学：駿河台大学文化情報学部紀要、Vol.15, No 1, pp.31-38	2008. 06
	研究テーマ	ユビキタス・ネットワーク社会の可能性、教育支援システムの開発		
野村正弘 (准教授)	論文	燻蒸残留薬剤の効果的除去について－燻蒸安全チェックリスト付－	博物館学雑誌、34巻1号、pp.51-62. (全日本博物館学会)	2008. 12
	学会発表	有孔虫化石から見た下総層群蔽層の生層序と古環境	第2回研究発表会「関東の地質」講演資料集、pp56-57. (日本地質学会関東支部)	2008. 06
	その他	化石を楽しむ・学ぶ	東京ミネラルショー公式ガイドブック、14-15. (プラニー商会)	2008. 12
	研究テーマ	企画展「いつでもどこでも音楽を楽しみたい！～蓄音機の進化するカタチ～」	展示協力(狭山市立博物館)	2008. 10
波多野宏之 (教授)	論文	自然系博物館の展示・研究・教育、地域の自然		
	論文	MLAの融合と情報専門職－ミュージアム、ライブラリー、アーカイブズの未来－	駿河台大学文化情報学研究所報. 第7号、pp.51-60 (2007年度)	2008. 10
	論文	情報メディアの融合と図書館の将来－日仏比較の視点から－	日仏学術交流のルネッサンス報告論文集. 日仏会館、pp.141-145	2009. 03
	学会発表	情報メディアの融合と図書館の将来－日仏比較の視点から－	日仏学術交流のルネッサンス. 日仏交流150周年記念日仏関連学会シンポジウム	2008. 09
広瀬順皓 (教授)	研究テーマ	アート・ドキュメンテーション、文化環境の日仏比較		
	研究テーマ	近代日本における官僚と政治		
福永昭 (教授)	講演	観光地の老化について	豊岡ブチ大学講演	2008. 06
	研究テーマ	観光ホスピタリティ研究および旅行管理者試験対策		
村越一哲 (教授)	論文	育児が発育不良をもたらしたのか－大正期の農村乳児を対象とした検討－	社会経済史学(社会経済史学会)、第74巻第3号、pp.65-84	2008. 09
	学会報告	旗本の出生力に関する検討	日本人口学会(第60回大会於日本女子大学)	2008. 06
	研究テーマ	近代における mortality と女性労働 江戸時代の武士人口と官僚制 インターネット上での記録史料情報の共有化		
門馬幸夫 (教授)	研究テーマ	文化の観念と差別の社会学的研究		